

「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」併催イベント(ESD 交流セミナー)

## 生命地域・流域圏で進める ESD！

日時：2014年11月11日（火） 9：00～10：30、場所：名古屋国際会議場レセプションホール A

主催：中部 ESD 拠点協議会、助成：地球環境基金

### 【開催趣旨】

本セミナーは、生命地域（バイオリジョン）を地域単位として ESD を進める手法に関する学びを深めることを目的として開催します。地域課題や地球規模の課題解決に向けて行動できる人材を育成することが ESD の目的ですが、そのためには、個々人が暮らす地域の自然環境や社会状況、また、経済の仕組みを学ぶ必要があります。中部 ESD 拠点は、これまでに伊勢・三河湾流域圏を対象として ESD を展開してきました。本セミナーでは、中部 ESD 拠点が実施している「伊勢・三河湾流域圏 ESD 講座」に関わった教育機関、企業、NPO や市民活動などの多様なステークホルダーを招いて討論を行います。

### 【プログラム】

■開会挨拶 竹内 恒夫（中部 ESD 拠点運営委員長/名古屋大学教授） 9:00～9:05

■基調報告 「生命地域・流域圏で ESD を進める意義」 9:05～9:25

古澤 礼太（中部 ESD 拠点事務局長/中部大学准教授）

■伊勢・三河湾流域圏 ESD 講座 グッドプラクティス紹介 9:25～9:55

事例① 流域圏を「全体」から考える ～答志島のゴミ問題～

「伊勢湾流域圏の漂着ゴミ」 小浦嘉門（22世紀 奈佐の浜プロジェクト委員会委員長）

事例② 流域圏を「縦」（上下間交流）から考える ～矢作川流域圏の交流事例～

「矢作川流域圏懇談会の取組みと矢作川森林塾」 碓伸夫（NPO 法人矢作川森林塾 理事長）

西原 均（矢作川流域圏懇談会）

事例③ 流域圏の持続可能性を「食」から考える

「食・農と持続可能な社会づくりのための学びについて」 松沢政満（福津農園）

■コメント 9:55～10:25

コメンテーター：ムニーラ・ガザリー（RCE ペナン）、森一知氏（奈佐の浜 P 事務局長）、

山本武志（愛知県教育委員会）、西山小春氏（中部 ESD 拠点ユースリーダー）

■閉会挨拶 浅田益章（中部 ESD 拠点運営委員） 10:25～10:30

※引き続き、10:30 から「伊勢・三河湾流域圏 ESD 講座」のポスターセッションを開催します。